

| | | | | | | | | |
|---|--|-------------|------------|---|--------------|----|-----------------------------|--|
| 部会名： | | 防災部会 | | | | | | |
| 部会長（氏名・所属先） | | 誉田氏（ときわ虹の会） | | | 副部会長（氏名・所属先） | | 中戸川 | |
| 構成機関 | 相談支援従事者 | 1 | 就労支援センター | | 発達障害者支援センター | | | |
| | 障害福祉サービス事業者 | 15 | 医療機関 | 1 | 教育関係機関 | 1 | | |
| | 民間企業 | | 高齢者介護の関係機関 | | 当事者・当事者団体・家族 | 4 | | |
| | 当事者の家族 | 3 | 大学等 | | 公共職業安定所 | | | |
| | 公共職業安定所 | | 保育所 | | 児童相談所 | | | |
| | 児童相談所 | | 知的障害者相談員 | | 民生・児童委員 | | | |
| | 民生・児童委員 | | 地域住民代表 | | 区福祉保健センター | 1 | | |
| | 基幹相談支援センター | 1 | 生活支援センター | | 地域ケアプラザ | | | |
| 社会福祉協議会 | 1 | その他 | 2 | 合計 | | 27 | | |
| 年間目標 | ・被災地障害者センター横浜ほ도가や（以下センター）の具現に向けての課題の整理・解決、訓練や部会以外の方への周知を行う。・災害時に必要な知識について学ぶ機会を設ける。・防災訓練実施への啓発 | | | | | | | |
| 月 | 活動内容 | | | | | | 会議開催日時 | |
| 4月(事務局) | ・被災地障害者センター横浜ほ도가や（以下センター）の「運営マニュアル」の読み合わせ、LINEオープンチャットの練習、今年度の防災部会の進め方、区の寄付金による備品購入について等 | | | | | | 活動ホームゆめ 4/16 16:00～17:30 | |
| 6月 | ・センター「開設・運営マニュアルについて」、総会の実施、災害発生時HPの作成、研修の実施、保土ヶ谷区からの寄付と区制100周年についてなど | | | | | | 活動ホームゆめ 6/11 16:00～17:30 | |
| 8月(事務局) | ・たちばな会防災研修について、センター開設訓練について、センターHP作成について、研修の実施、備品の購入、区民まつり参加など | | | | | | 活動ホームゆめ 8/20 16:00～17:30 | |
| 10月 | ・災害訓練などの状況と課題について、各事業所の災害対策への情報交換、センター備品リストについて、区民まつりについて、研修の実施について、総会の実施など | | | | | | 活動ホームゆめ 6/17 16～17:30 | |
| 1月(事務局) | ・備品購入について、研修について、区災ボラ訓練報告、区制100周年への取り組みについて、次年度の計画について | | | | | | 1月8日(水) 16時00分～17時30分 | |
| 2月 | 令和8年度 防災部会研修 東日本大震災の教訓 ～見えない障害への支援～ 講師：相馬広域こころのケアセンターなごみセンター長 米倉一磨様 | | | | | | 2月18日(水) 16時00分～18時 | |
| 連携・協働による課題解決の仕組み | 部会でできたこと・やったこと ・センター事務局のLINEオープンチャット作成 ・センター総会の実施、センターの周知として当時者 団体研修参加、区民祭り参加、区への寄付による備品購入、各事業所の防災についての情報交換 | | | | | | | |
| | 運営上の課題 ・HPや周知・SOSチラシの作成 ・必要備品の購入、保管場所の確保 ・実際に災害が発生したときの連携 | | | | | | | |
| シェアしたい取組 | | | | 市域で共有・検討したい課題 | | | | |
| ・センターが開設した事の周知を障害関係者以外にも行う ・参加者の防災についての情報交換 ・能登半島地震の被災された方のお話を聞く。 | | | | ・このセンターを保土ヶ谷区以外にも開設して欲しい ・防災意識の向上 ・市域で助け合える関係性の構築 ・地域住民、企業との連携 ・行政、社協、地域、他団体との協力・連携 | | | | |